

# 議会だより

2010年 5月 北海道中川郡豊頃町議会発行



## 37億円の新年度予算を可決

第1回定例会は、3月3日に招集され、平成22年度当初予算をはじめ、条例の制定・改正及び平成21年度補正予算など34議案を、いずれも原案どおり可決し、16日に一般質問等を行なって閉会しました。

平成22年度一般会計予算は37億6千681万5千円で、対前年度比2・1パーセントの増、特別会計を合わせた8会計総額では、53億7千801万4千円で、対前年度比3・2パーセントの増となる。

歳入では、普通交付税は8千68万1千円減の19億7千7万3千円、臨時財政対策債は3千900万円増の2億5千万円が見込まれている。また、産業振興事業に充てるため、産業振興基金の取崩しを1千600万円、漁業振興住宅建設事業の財源に充てるため、ふるさと振興基金の取崩しを2千400万円計上。

歳出では、地上デジタルテレビ中継局整備事業に2千877万7千円、コミュニティバス運行業務委託事業に438万7千円、ほか緊急暗渠排水整備事業、漁業振興住宅建設事業、小学校入学祝金支給事業、小・中学生修学旅行費助成事業、医療費の無料化を小学校から中学校卒業まで拡

大した乳幼児等医療費助成事業等に要する経費を計上。審議内容については19ページに掲載されています。また、平成21年度一般会計ほか7特別会計が次ページ表のとおり補正されました。

おもな補正の内容としては、地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業として、農道・明渠改良整備、町道7路線の舗装改修工事、農作業管理休養施設等の塗装改修工事、小・中学校の設備・施設等の改修、豊頃医院看護師宿舎改修工事、下水道管渠改修工事等に要する経費の追加を行なったものである。

平成22年度各会計の当初予算の比較(単位:万円)

会 計 名	22年度	21年度	比較	伸び率	
一 般 会 計	37億6,681.5	36億8,816.5	7,865.0	2.1%	
特 別 会 計	国民健康保険特別会計	6億 143.9	5億6,744.9	3,399.0	6.0%
	介護保険特別会計	3億 940.9	2億9,869.1	1,071.8	3.6%
	老人保健特別会計	16.3	63.6	▲47.3	▲74.4%
	後期高齢者医療特別会計	4,683.0	4,453.7	229.3	5.1%
	医療施設特別会計	1億5,471.5	1億5,469.5	2.0	▲0.0%
	簡易水道特別会計	2億8,431.8	2億3,579.9	4,851.9	20.6%
	公共下水道特別会計	2億1,432.5	2億2,335.2	▲902.7	▲4.0%
計	53億7,801.4	52億1,332.4	1億6,469.0	3.2%	



# 【条例改正等】

▼豊頃町民交通災害救済条例の廃止  
昭和45年に制定後、多くの町民が、町民交通傷害保険に加入されていたが、平成21年度末をもって保険者である共栄火災海上保険(株)から、本保険契約の継続契約を中止する旨の通知があり、これに代わる引き受け保険会社もないことから、平成22年3月31日で当該保険の取り扱いもやめ、本条例を廃止する。

▼豊頃町職員の勤務時間その他勤務条件に関する条例の一部改正及び豊頃町職員の給与に関する条例の一部改正  
平成21年度の人事院勧告に基づき、本町においても改定を行うものであり、月60時間を超える超過勤務に係る超過勤務手当については100分の25の割増支給を受けるか、又は当該割増支給に替えて代休を指定できる制度を新設するため改正する。

▼豊頃町高等学校等就学助成金交付条例の制定  
高等学校等に就学している、生徒の就学費用の一部助成を行い、保護

者の経済的負担を軽減し就学している生徒の健全育成を推進することを目的とし、条例を制定する。助成金の額は、生徒一人につき月額5千円。

▼豊頃町乳幼児等医療費給付条例の一部改正  
本町の乳幼児等の医療費は、小学生まで全額給付を行っていたが、これを子育て支援策等の一環として中学生まで拡大するため改正する。

▼豊頃町入学祝金支給条例の制定  
本町の子育て世代が、安心して児童を養育する環境を整備するための子育て支援策の一環として、小学校に入学する児童の保護者に入学祝金を支給し、児童の健全な育成を増進することを目的とし条例を制定する。祝金の額は、児童一人につき3万円。

▼豊頃町重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部改正  
平成22年4月より新たに肝機能障害が身体障害者の内部障害と同様に、認定基準に追加され身体障害者手帳

の受給対象者となるため改正する。

▼豊頃町営住宅の設置及び管理条例の一部改正及び豊頃町特定公共賃貸住宅の設置及び管理条例の一部改正  
暴力団員による不当な行為の防止に関する法律に規定する暴力団員の入居を承認しないため改正する。

▼豊頃町簡易水道設置条例の一部改正  
国の指導により、茂岩簡易水道と二宮簡易水道を統合して認可を受けるため改正する。

▼北海道市町村職員退職手当組合規約の変更、北海道市町村総合事務組合規約の変更及び北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更  
一部事務組合を組織する組合組織団体の変更に伴い改正する。

## 会議の詳細は 会議録で

定例会や臨時会などの会議の内容は、会議録に詳細に記録されています。

ご覧になりたい方は、町ホームページを閲覧されるか、議会事務局へお問い合わせください。

また、議会だよりの感想もお待ちしております。

TEL 015-574-2222  
FAX 015-574-3955  
(議会事務局直通)



# 定例会審議内容

広報とよころ

議会だより

役場だより

## ▼高等学校等就学助成金

**Q** 公立、私立問わず助成の対象となるか。

**A** いずれも対象となり、助成金の額は1人につき月額5,000円とする。

**Q** 目的に保護者の経済的負担の軽減とあるが、今後においても、恒久的な子育て支援対策として考えているのか。

**A** 本町には高校がなく、保護者の負担も多くなっている。また、第4次総合計画の子育て支援策であり、財政的状況にもよるができる限り継続したい。

## ▼コミュニティバス運行

**Q** 運行業務委託の内容は。

**A** 試行運転時の1往復の平均利用者が1人程度であることから9人乗りの車両が効率的である。車両借り上げを含め運行業務を町内のタクシー業者に委託する。今年度の運行において、利用者数が増えるようであれば、翌年度は契約内容の見直しを図っていく。



## ▼消費生活相談

**Q** どのような形で推進されているか。また相談件数は。

**A** 毎月1回定例の相談日を設けており、役場だよりで周知している。また、庁舎1階に消費生活相談室を設置しており、常時相談を受けられる体制にある。平成21年度の相談件数は1件。

## ▼下水道管渠の整備状況

**Q** 整備状況とその見通しは。

**A** 毎年マンホールを調査し清掃を行っている。自然流化せず常時滞水している箇所を緊急を要する部分から順に改修工事を行っている。本町は泥炭地が多く、地盤的に不等沈下が起きやすく、今後も改修が必要な箇所は出てくる。



## ▼住宅用太陽光発電システム

**Q** 今年度限りの事業であるか。また事業の内容は。

**A** 特別な情勢の変化がない限り今年度より継続的に進めていきたい。発電量1キロワット当たり7万円、上限28万円を1件当たりの助成額とする。2件分を予算化しているが、申請が増えれば補正で対応したい。





# 一般質問

## 新年度予算の重点事項は 基幹産業を中心に活性化

大崎英樹議員 今年から10年間のまちづくり総合計画が決定されたが、平成22年度予算の重点事項をどう位置付けたか。

宮口町長 少子高齢化、商店街の空洞化、過疎化など、地域づくりの課題解決のため長期的展望から基幹産業を中心に活性化を図り、さらに商工業振興に努めていきたい。

大崎英樹議員 投資的事業として地域活性化基盤整備事業、地上デジタルテレビ中継局整備事業等

町民は期待しているが、その他の事業内容について伺う。

宮口町長 地域活性化事業の空き店舗対策、総合行政システム、緊急暗渠排水整備事業、中山間地域対策、

畜産環境リソース事業、21世紀北の森推進事業等々である。

大崎英樹議員 特に、空き店舗対策の事業展開を早急に推進していくべきと思うが。

宮口町長 空き店舗対策については計画を進めており、既に一部補助事業の申請をしている。他の店舗等も条件、目的等整えば考えていきたい。

大崎英樹議員 予算における緩急的仕分けについての考えは。

宮口町長 第4次まちづくり総合計画に基づいて編成しているが、国からの活性化補助金等は今まで課題となっていたものに優先的に配分している。さらに福祉・教育等のソフト事業も緩急を考えバランスのとれた予算とした。

大崎英樹議員 子育て家庭支援策として町外通勤者への支援等を考えているようだが。

宮口町長 本町に定住していただくためには、住宅環境の整備を含めどのような形が良いのか、今後十分検討し前向きに進めたい。

大崎英樹議員 出産祝品の贈呈も検討されているがその内容は。

宮口町長 過去には祝い金であったが、少子化対策の一つとして形に残るもの、思い出になるものなど検討したい。

## 街路灯のLED化導入を 試験的に設置、今後も検討



活用がまたれる空き店舗

大崎英樹議員 事業所進出、起業家に対する施策について。

宮口町長 今年4月から始めたいと考えている。補助限度額は300万円程度、事業内容等について内部審査会を経て決定したい。

大谷友則議員 地球温暖化防止のため省エネやCO2の削減をしなければならぬ。CO2の削減を推進する上で街路灯のLED化に取り組んで。

宮口町長 街路灯については明るさや形状などがさまざまで老朽化したものを修理して使用している。LED化についても、

本年2月に庁舎正面玄関に試験的に設置し調査している。今後も検討して

いきたい。

大谷友則議員 近年マイマイガが異常発生し、一部街路灯を消して対応しているが、マイマイガを集める紫外線を出さないLEDは有効であり推進するべきと思うが。

宮口町長 10年周期で大発生しており、今後は収束するのではないかと思われる。公共施設等では消灯して抑えているが市街地の外灯については、地域の方と協議し対策を考えていかなければと考える。

大谷友則議員 駆除については、一斉にやらないと効果がないのでは。宮口町長 発生時期がある程度予測されれば町民にPRをし、一斉に対応したい。



町内に設置されている街路灯



## 建設業へ与える影響は大きい 基幹産業を守る公共事業を強く要請

大谷友則議員 国の新年度予算編成は、コンパクトから人への方向性に基つき行われている国の新年度予算編成が、公共事業への依存度の高い本町にあたる影響は。

宮口町長 ダム、道路、港湾等の大型公共事業が削減されるなど北海道開発予算は対前年度17パーセント減となり、本町の要望どおりの予算配分になるのか大変危惧している。今後についても、まちづくり総合計画に基づき長期的な財政計画により進めていく。

大谷友則議員 北海道開発予算の削減見通しは本町の建設業に与える影響は大きい。業界への指導や対策については。

宮口町長 北海道開発局からの公共事業が多く北海道経済への影響は大きいので、農林漁業など基幹産業を災害から守るため必要な公共事業を国や道に対して強く要請する。

大谷友則議員 行政策新会議での事業仕分けによれば、特に第一次産業の漁業、農業に対する予算の削減が大きい。我が町の漁業、農業への影

響については。

宮口町長 特に農業農村予算については落ち込んでおり、基盤整備については農協と協議をし、単独でも実施していく。漁業については情報が入りしだい考えたいが、第一次産業をしっかりと守っていく。



改良舗装中の二宮第1号支線

## 予防接種の充実 検診率の向上は重要

菅谷 誠議員 保健の充実、疾病の早期発見に各種検診は重要であり個人負担の軽減により受診の勧奨で早期発見・早期治療が大切である。高齢者を対象とした肺炎球菌ワクチン予防接種費用が高額であり町の助成について増額要望が強いが町の対応は。

宮口町長 肺炎による入院の減少は医療費の削減にも効果的であるため、町では平成19年度から補助を行っている。自己負担額は平成21年度までは3、170円であるが、平成22年度から2、800円に減額する予定である。

菅谷 誠議員 肺炎球菌ワクチン接種は任意であるが高齢者の肺炎患者が増えており、助成対象年齢は現在75歳以上であるが健康と安心の観点から65歳以上から対象とするべきと考えるが。

宮口町長 現在、肺炎球菌ワクチンの接種は一回のみ許可されている。個人差はあるが免疫力や抵抗力が弱まわり、体力も消耗してくるのは75歳位と考える。この頃からの接種が一番効果的と考える。

菅谷 誠議員 がんは早期発見・早期治療で治る可能性が高いので検診費用の無料化により受診率の向上を図るべきと考えるが。

宮口町長 医療費の抑制につながる検診率の向上は重要であるが、自分の健康は自分で守るという意識づけも必要であり無料化については考えていない。

菅谷 誠議員 子宮頸がんは予防ワクチン接種で唯一予防が可能である。ワクチン接種の現状と今後の対応は。

宮口町長 後遺症、危険性等について情報を収集し的確に把握して検討していきたい。

菅谷 誠議員 ワクチン接種の費用も高額であり、補助金も必要と考えるが。

宮口町長 高額なワクチン接種の補助は町の財政負担も大変であるが、総体的に考えるなど十分内部で検討したい。



各種検診がおこなわれる町保健センター



# ★ 行政報告 ★

## 第1回定例会において町長から行政報告がありました

### ◆南米チリ沖地震に伴う津波対策について

2月27日の南米チリ沖地震による津波発生のおそれから、28日午前9時15分緊急全体庁議において対策を協議、午前9時33分太平洋沿岸中部に津波警報が発令されたため避難勧告を発令。大津地区住民並びに海岸線などの釣り人に防災無線、消防広報車で避難勧告を周知し、職員による大津海岸線、湧洞・長節沼、十勝川の巡視や大津港の潮位の状況調査、避難所へも職員を派遣し警戒態勢を執った。

午前11時に災害対策本部を設置、大津コミセンに避難された98名の方々には、適切な情報提供や心のケアサービスなどの対応に当たった。

津波の第1波は午後2時12分に潮位2.08メートル、最大波は潮位が2.7メートルを超え、一時、漁海岸壁に乗り上げたため厳重な警戒態勢を執ったが、午後11時36分津波注意報に切り替わったことから避難勧告を解除、3月1日対策本部を解散した。現在のところ大きな被害の報告も受けていないが、今後においても防災対策を強化してまいりたい。

### ◆コミュニティバスの試験運行の結果について

交通弱者といわれる高齢者等の交通手段を確保するため、12月1日から2月26日までの3か月間、試験運行をしてきた。

その結果、湧洞・牛首別線は10日間の運行で66人、礼文内・豊頃・幌岡線は12日間で126人、二宮・下農野牛線は12日間で71人、統内・礼作別・上農野牛線は11日間で91人、大津・長節・背負線は12日間で110人、大津市街から茂岩市街間は4人。なお、幕別駅までは、統内方面から2人、茂岩から12人、なお、市街地区の豊頃駅から豊頃医院まで377人（81パーセント）、農村部から市街地区まで87人（19パーセント）の利用があった。

利用者へは、利用目的や運行回数、料金などアンケートを実施。4月からは地域住民の交通手段の確保ができるよう方法を変えて運行を考えている。

### ◆十勝圏消防広域化に向けた取り組みについて

平成21年8月19日開催の十勝圏消防広域推進会議以降、事務レベルはもとより市町村長及び副市町村長会議における協議を経て、現時点での十勝消防の広域化に関する大まかな方向性が示された。

平成25年からの運用開始を目途とし、一部事務組合方式により、帯広圏の市街地に消防本部の中心機能を置くことで方向性が示されており、現在の消防力を低下させることなく、「災害時における初動体制の強化及び効率的な部隊の運用」、「現場到着時間の短縮」、「重複設備投資の回避」、「適切な人事による組織の活性化」等が図られることとなっている。

しかし、人員及び資機材の削減についての危機感や広域人事による職員の定住人口の減少に対する不安もあり、広く町民の理解を得ることが重要な判断基準となる。

今後も地域住民の生命を守り続けるべく本町としての立場を伝えるとともに、随時議会とも協議をしながら町としての考えをまとめてまいりたい。

### ◆特別養護老人ホームとよころ荘の整備について

平成21年11月より、豊頃愛生協会から特別養護老人ホームとよころ荘の施設整備に関して要望を受けている。

とよころ荘は、昭和58年度に建設して以来25年が経過し、消防法の改正により平成23年度までにスプリンクラーの設置が義務化され設置工事が必要となったこと、更には施設自体が狭隘で老朽化したことなどから、現施設を50床から30床に減床し、新規に地域密着型小規模特養施設28床を新築しようとするものである。概算事業費はおおよそ2億7～8千万円であり、町としては、財政の許す範囲で支援を考えている。



## 第1回臨時会(2月22日)

### ▼専決処分の承認

冬期間の除・排雪に要する経費が、不足を生じる見込みから、一般会計予算に、2千510万円を追加し、予算の総額を5億6千601万1千円と定めることを1月6日専決処分したことを承認。

### ▼第4次豊頃町まちづくり総合計画の策定

現行の第3次豊頃町総合開発計画が、平成21年度をもって終了することに伴い、平成31年度を目標年次とする平成22年度からの10か年を計画期間とする第4次豊頃町まちづくり総合計画について議決。



### ▼町道の認定

道道帯広浦幌線線形改良工事により生じた旧道道分を北海道から譲与

され区間を町道十弗宝町線として認定をするもので、現地確認を要することから、産業厚生常任委員会へ付託。(平成22年3月16日第1回定例会で議決)

### ▼町道の変更

道道帯広浦幌線線形改良工事に伴い、町道十弗北栄線から新道道交点まで町道延長の変更をするもので、現地確認を要することから、産業厚生常任委員会へ付託。(平成22年3月16日第1回定例会で議決)

## 第2回臨時会(3月8日)

### ▼工事請負契約の締結

工事請負契約の締結にあたり見積合わせて決定したが、予定価格が5,000万円以上の契約であることから条例の規定により議会の議決を求められた。締結する豊頃町地域情報通信基盤整備工事は、町内におけるブロードバンド・ゼロ地域解消を基本とした情報通信基盤整備及び地上デジタル放送の難視聴地域の解消に向けた施設整備それぞれを光ケーブル敷設方式で実施しようとするものであり、契約金額は6億2,475万円である。

# 議会日誌

### 〔2月〕

8日 例月現金出納検査報告書受理  
15日 元議会議員研修会  
16日 議員全員協議会  
22日 第1回臨時会  
24日 豊頃町教育事務執行の点検・評価報告書受理  
25日 十勝町村議会議長会定例会  
26日 十勝圏複合事務組合議会定例会

### 〔4月〕

18日 議会広報特別委員会  
18日 例月現金出納検査報告書受理  
26日 東十勝消防事務組合議会  
29日 第2回臨時会  
14日 例月現金出納検査報告書受理  
7日 議会広報特別委員会  
14日 十勝町村議会議長会役員会  
15日 十勝町村議会議長会定例会

### 〔3月〕

4日 議会運営委員会  
10日 第1回定例会(1日目)  
(条例制定・改正等、補正予算、その他)  
総務文教常任委員会  
産業厚生常任委員会  
11日 第1回定例会(2日目)  
(新年度予算)  
産業厚生常任委員会  
12日 第1回定例会(3日目)  
(一般質問、その他)

### 〔5月〕

14日 第3回臨時会  
18日 十勝圏活性化推進期成会総会

### 〔6月〕

3日 全道町村議会議長会定期総会  
中旬 第2回定例会